



E:Education
for
S:Sustainable
D:Development
O:omagari
m:minami

H.28.11.29 No.7

大曲南地区「オープンスクール」

11月16日(水)大曲南地区の小・中学生が合同で環境学習を行う、オープンスクールが開かれました。今年も、昨年に引き続き、あきた地球環境会議 事務局長 福岡真理子さんを講師としてお招きし、改めて私たちの住む地球について考えを深めることができました。

今年の学習は2部構成でした。まず「1992年 リオ環境サミットでの カリス スズキさんの伝説のスピーチ」の視聴、そして「あなたがもし『校長先生なら』『大仙市長なら』」というワークショップに取り組みました。



**セヴァン・カリス=スズキさん、当時12歳。
世界の指導者を前に堂々たるスピーチを披露し、世界に衝撃を与えた。**

「絶滅した動物をどうやって生きかえらせるのか。そして、今や砂漠と
なってしまった場所にどうやって森をよみがえらせるのか、あなたは知らないでしょう。」

「どうやって直すのかわからないものを、こわしつづけるのはもうやめてください。」
スピーチより抜粋



あなたが、もし『校長先生なら』もし『大仙市長なら』
どんな環境対策を行いますか？

『校長先生なら』

給食の食べ残しをなくす

学校を早く閉めるようにする

空き教室の節電を徹底する

『大仙市長なら』

ゴミの出し方の悪い人に罰金をかける

全員にエコな乗り物を配る

自家用車利用をナンバーで制限する

オープンスクールを終えて

- ・同じ歳の少女がたくさんのことを考え、行動に移したことがすごいと思う。行動することが大事だと思った
- ・口でなら簡単に言えることがたくさんあるけれど、行動できる人は少ない。口先だけでなく、自分から動ける人になりたい。
- ・小学生とコミュニケーションがとれてよかった。中学生の視点、小学生の視点それぞれよさがあり、お互いに刺激になったと思う。